



「ガーデンネックレス横浜2025」

「みなとエリア」の花の見どころ

「みなとエリア」は、横浜を象徴する港の景観とともに、3月下旬～4月上旬が見頃の桜にはじまり、チューリップ（4月上旬～4月中旬）、バラ（5月上旬～5月下旬）、ユリ（5月中旬～6月上旬）とリレーをするかのように様々な花が咲き誇ります。

開港時、東西花貿易の一大拠点としにぎわった横浜の歴史と共に作りあげてきた公園緑地や美しい街並みを巡りながら、季節の花々のリレーを楽しむことができます。

みなとエリアの桜

時期： 3月下旬～4月上旬

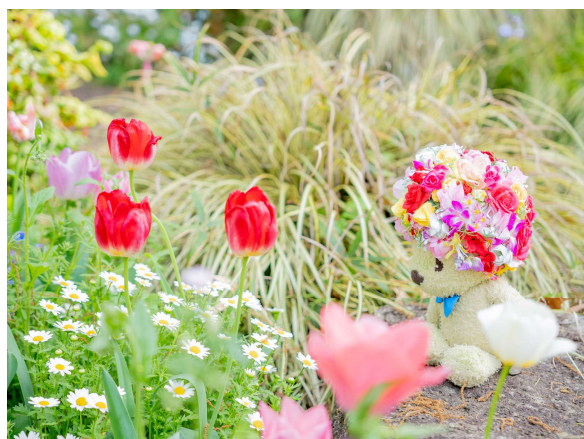


港や運河など横浜らしい風情と桜を同時に楽しむことができます。また、さくら通りは、桜木町駅から横浜ランドマークタワー、パシフィコ横浜へと続く約500mに渡る100本もの桜並木。淡紅色の美しいソメイヨシノが毎年花を咲かせ、みなとみらいの風景と桜並木が圧巻です。

運河と横浜ランドマークタワーや大観覧車を望め、海を渡るような気分で散策できる自動車等にも桜が咲き誇ります。

みなとエリアのチューリップ

時期： 4月上旬～4月中旬



みなとエリアには、カラフルなチューリップが市内各所に咲き誇ります。

- 横浜公園では色鮮やかな10万本のチューリップが春を彩ります。
- 30品種、約2万球のチューリップが横浜公園から横浜港へ400mのチューリップの花回廊として歴史的建造物やオープンカフェがならぶ日本大通りを彩ります。



横浜市の市の花である「バラ」を主役にした魅力的なイベントを市内各所で開催します。

特に、5月3日から6月15日まで開催される「横浜ローズウィーク」では、市内各所のバラ園や、バラがテーマのイベント、スイーツ、カクテル、ショッピングなど、横浜の歴史を感じる街並みや港の風景とともに“バラ”を楽しむことができます。

また、山下公園では約160品種、1,900株のバラの競演が港の風景と一緒に楽しめる「未来のバラ園」、港の見える丘公園では「イングリッシュローズの庭」をはじめ、「バラとカスケードの庭」、「香りの庭」など、趣ある洋館を背景に約470品種、1900株（3エリア合計）の色とりどりのバラの鑑賞や香りを楽しむことができます。

他にも、横浜イングリッシュガーデン（有料）は2,200品種2,800株以上のバラが咲く5つのエリアがあり、アメリカ山公園は眺望のよい景観とあわせてバラや多くの草花、山手イタリア山庭園は「バラと輝く噴水の庭」、こども植物園では野生種・オールドローズから現代のモダンローズまで約150種300株を鑑賞することができます。